

本書は製品とともに大切に保管してください

N8843-009L

**タワーコンバージョンキット(L)
ユーザーズガイド**

まえがき

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本タワーコンバージョンキットをご利用になられる前に、本書に記載されている内容をよく読んでご理解し、安全にご利用ください。

 安全上のご注意 -必ずお読みください-

本製品を使用する装置の「ユーザーズガイド」および「安全にご利用いただくために」には、本製品を安全に正しくご利用になるための必要な情報が記載されています。本製品を使用する前に必ずご参照ください。

目 次

| | |
|---|----|
| 目 次 | 2 |
| 表 記 | 3 |
| 安全にかかわる表示 | 3 |
| 本書で使用する記号とその内容 | 3 |
| 本文中の記号 | 4 |
| 本書および本製品に関する注意と補足 | 5 |
| 安全上のご注意 | 5 |
| 第三者への譲渡について | 5 |
| 本製品の保証について | 5 |
| 本製品の廃棄について | 5 |
| 1. はじめに | 6 |
| 1.1 対象装置 | 6 |
| 2. 構成品 | 7 |
| 3. 梱包箱の開梱 | 9 |
| 4. 各部名称 | 12 |
| 5. 設置 | 13 |
| 5.1 設置場所の確認 | 14 |
| 5.2 設置作業エリア・保守エリア | 14 |
| 5.3 搬入経路の確認 | 15 |
| 5.4 タワーコンバージョンキットの設置 | 16 |
| 6. 内蔵オプションの取り付け(本体装置) | 18 |
| 7. タワーコンバージョンキットへの実装 | 19 |
| 7.1 Express5800/高可用性サーバ(Express5800/R31Aa-E2) | 19 |
| 7.1.1 マウントレールの取り付け | 21 |
| 7.1.2 装置の実装 | 26 |
| 7.1.3 ケーブルの接続 | 29 |
| 7.2 Express5800/高可用性サーバ(Express5800/R32Ba-E2) | 31 |
| 7.2.1 マウントレールの取り付け | 34 |
| 7.2.2 装置の実装 | 40 |
| 7.2.3 ケーブルの接続 | 43 |
| 8. 日常の保守 | 44 |
| 8.1 本製品のクリーニング | 44 |

表 記

安全にかかわる表示

ユーザーズガイドでは、危険の程度を表す用語として以下を使用しています。



警告







人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



注意










火傷やけが、物的損害などを負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意は3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持ちます。







| | | | |
|---|--------------|---|--|
|  | 注意の喚起 | この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。 | (例)  (感電注意) |
|  | 行為の禁止 | この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。 | (例)  (分解禁止) |
|  | 行為の強制 | この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。 | (例)  (電源プラグを抜け) |

本書で使用する記号とその内容




注意の喚起

| | | | |
|---|--------------------------|---|----------------------------|
|  | 感電のおそれのあることを示します。 |  | 手のはさまれてけがをするおそれがあることを示します。 |
|  | 高温による傷害を負うおそれがあることを示します。 |  | けがをするおそれがあることを示します。 |
|  | 爆発または破裂のおそれがあることを示します。 |  | レーザー光による失明のおそれがあることを示します。 |
|  | 発煙または発火のおそれがあることを示します。 |  | 特定しない一般的な注意・警告を示します。 |
|  | 複数の受電があることを示します。 | | |


行為の禁止

| | | | |
|---|---|---|---|
|  | 本機を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。 |  | ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。 |
|  | 指定された場所以外には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。 |  | 水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。 |
|  | 火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。 |  | 特定しない一般的な禁止を示します。 |

行為の強制




| | |
|---|---|
|  | 本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。 |
|  | 必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。 |
|  | 特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。 |

(表示例)

| 注意を促す記号 | 危険に対する注意の内容 | 危険の程度を表す用語 |
|--|--|---|
|  | 指定以外のコンセントに差し込まない 指定された電圧で、アース付きのコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。 |  警告 |

本文中の記号

本書では安全にかかわる注意記号のほかに3種類の記号を使用しています。これらの記号は、次のような意味を持ちます。

| | |
|---|---|
|  重要 | ハードウェアの取り扱い、ソフトウェアの操作などにおいて、守らなければならないことについて示しています。記載の手順に従わないときは、ハードウェアの故障、データの損失など、 重大な不具合が起きるおそれがあります。 |
|  チェック | ハードウェアの取り扱い、ソフトウェアの操作などにおいて、確認しておかなければならないことについて示しています。 |
|  ヒント | 知っておくと役に立つ情報、便利なことについて示しています。 |

本書および本製品に関する注意と補足

1. 本書の一部または全部を無断転載することを禁じます。
2. 本書に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 弊社の許可なく複製、改変することを禁じます。
4. 本書について誤記、記載漏れなどお気づきの点があった場合、お買い求めの販売店までご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については、4項に関わらず弊社は一切責任を負いません。

この説明書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いてください。

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、本書の注意事項および本体装置に添付されている「安全にご利用いただくために」もよく読んでからご利用ください。

第三者への譲渡について

本製品を第三者に譲渡（または売却）する時には、必ず本書を含むすべての添付品をあわせて譲渡（または売却）してください。

本製品の保証について

本製品には「保証書」が添付されています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認の上、大切に保管してください。保証期間中に故障が起きたときは、「保証書」の内容にもとづき無償修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。保証期間後の修理については、お買い求めの販売店または保守サービス会社まで連絡してください。

本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、各自治体の廃棄方法に従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

1. はじめに

このたびは、「N8843-009L タワーコンバージョンキット」をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は、NEC 製ラックサーバーを縦置きに収納し、ラック設備のない環境でもタワー型サーバーのように床置き設置を可能とする収納ユニット(タワーコンバージョンキット)です。本タワーコンバージョンキットでは、サーバー製品 1 台を収納することが可能です。

1.1 対象装置

本製品は、以下の装置に対応しています。(2025 年 12 月 時点)

- Express5800/高可用性サーバ(Express5800/R31Aa-E2)
- Express5800/高可用性サーバ(Express5800/R32Ba-E2)






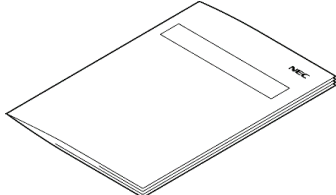
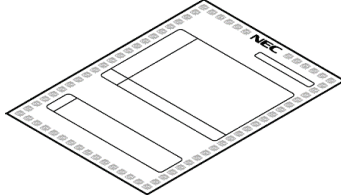
最新の対応状況については、各装置のシステム構成ガイドを参照してください。

2. 構成品

梱包箱には、次のものが入っています。本体および添付品がすべて揃っているかご確認ください。


万一足りないものや損傷しているものがありましたら、お求めの販売店までご連絡ください。またこれらの付属品は、セットアップ、保守などにおいて必要となりますので大切に保管してください。

| 項番 | 品名 | 数量 | 備考 |
|----|---------------------------|----|--|
| 1 | タワーコンバージョンキット | 1 | タワー本体  |
| 2 | フロントベゼルキー | 2 | フロントベゼル開閉キー  |
| 3 | ネジ(黒) | 10 | マウントレール取付用ネジ  |
| 4 | ラックナット | 6 | マウントレール取付用ラックナット  |
| 5 | ラックナット取付け用治具 | 1 | タワーコンバージョンキットにラックナットを取り付ける際、補助的に使用  |
| 6 | マウントレールセット A (R3xAx 用) | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・上部マウントレール×1 (912.5mm x 117.5mm ※突起物を含む寸法)  <ul style="list-style-type: none"> ・下部マウントレール×1 (912.5mm x 117.5mm ※突起物を含む寸法)  |

| | | | |
|---|---------------------------|---|---|
| 7 | マウントレールセット B (R3xBx 用) | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・インナーレールx1 (725mm x 44mm)  <ul style="list-style-type: none"> ・上部マウントレールx1 (878.3mm x 109.6mm ※突起物を含む寸法)  <ul style="list-style-type: none"> ・下部マウントレールx1 (780.4mm x 99.4mm ※突起物を含む寸法)  <p style="text-align: center;">インナーレール差し込みブラケットあり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上部ブラケットx1 個  <p style="text-align: right;">刻印:『U』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下部ブラケットx1 個  <p style="text-align: right;">刻印:『L』</p> |
| 8 | ユーザーズガイド | 1 | <p>本書</p>  |
| 9 | 保証書 | 1 |  |

3. 梱包箱の開梱

以下の手順で梱包箱を開けます。

| ⚠ 注意 | |
|---|---|
|  | <p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけが、物的損害などを負うおそれがあることを示します。</p> <ul style="list-style-type: none">● 2人以上で作業をする● 指を挟まない |

1. 本製品を平らな場所に置いた後、梱包箱の天面を開けます。



2. 添付品（マウントレールセット x2 箱）を取り出します。



添付品（マウントレールセット（2 箱）

3. 天面パッド（2つ）を取り除きます。



天面パッド



天面パッド

4. 外箱と下箱を連結するジョイント（片側2か所、両側で4か所）を取り外します。



ジョイントは、右の写真の点線部分を親指と人差し指でつまむことでロックが解除されますので、つまんだまま手前に引き抜いて取り外します。



5. 外箱を上を持ち上げ取り外します。



6. タワーコンバージョンキットの天面に貼付の添付品袋を取り出します。



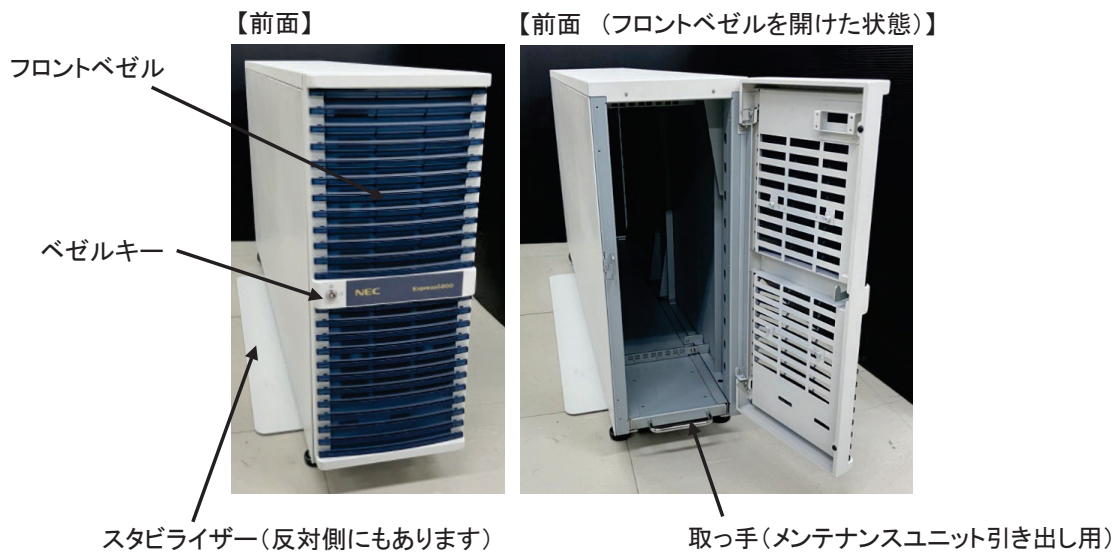
7. タワーコンバージョンキットを包装するビニール袋を取り外します。



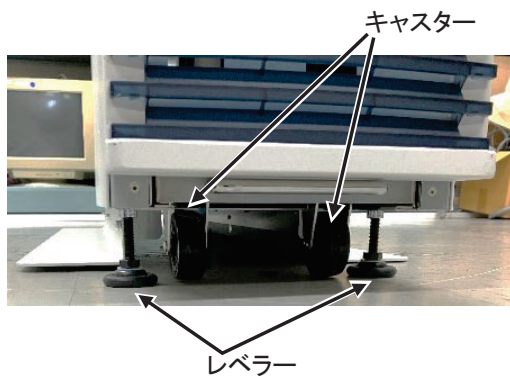
- 2人以上で、前面と背面からタワーコンバージョンキットの底面を手でもち、タワーコンバージョンキットを持ち上げたあと、平らな床にしっかりと置きます。



4. 各部名称




【前面下部】



5. 設置

タワーコンバージョンキットの設置にあたり、事前に以下の注意事項をご確認いただき、安全な設置作業を行ってください。


警告



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。本体装置の「安全にご利用いただくために」もあわせて参照してください。

- 指定以外の場所で使用しない
- アース線をガス管につながらない

注意



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけが、物的損害などを負うおそれがあることを示します。本体装置の「安全にご利用いただくために」もあわせて参照してください。

- 1人で搬送・設置をしない
- 1人で装置・部品の取り付けをしない
- タワーコンバージョンキットが不安定な状態で装置・モジュールを引き出さない
- 装置・モジュールをタワーコンバージョンキットから引き出した状態にしない
- キャスターのロックを解除したまま使用しない
- 装置の定格電源を越える配線をしない
- 腐食性ガスの発生する環境で使用しない
- フロントベゼルやスタビライザーの部分を持って、持ち上げない

5.1 設置場所の確認

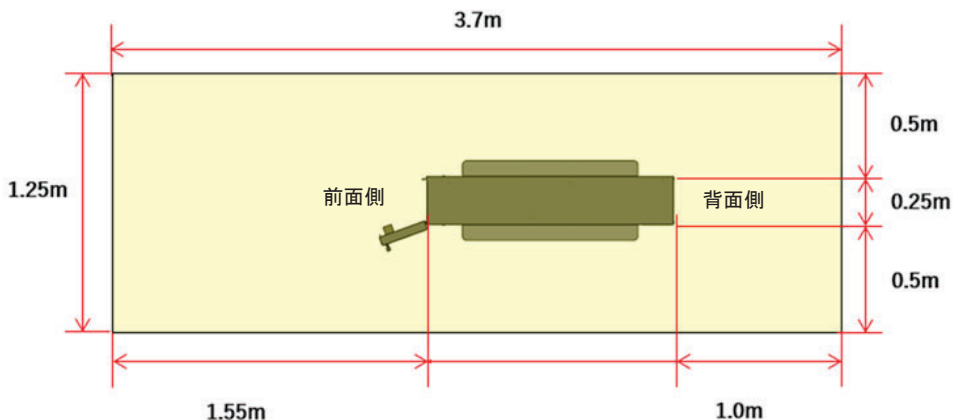
次のような場所には**設置しないでください**。誤動作の原因になります。

- 装置全体をタワーコンバージョンキットから引き出せないような狭い場所。
- 搭載する装置の総重量に耐えられない場所。
- スタビライザーが設置できない場所や耐震工事を施さないと設置できない場所。
- 床に、おうとつや傾斜がある場所。
- 温度変化の激しい場所(暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く)。
- 強い振動の発生する場所。
- 腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する場所。また、ほこりや空气中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている場所。
- 薬品類の近くや薬品類がかかるおそれのある場所。
- 帯電防止加工が施されていないじゅうたんを敷いた場所。
- 物の落下が考えられる場所。
- 強い磁界を発生させるもの(テレビ、ラジオ、放送/通信用アンテナ、送電線、電磁クレーンなど)の近く。
やむを得ない場合は、保守サービス会社に連絡してシールド工事などを行ってください。
- 装置の AC 電源ケーブルをその他の接地線(特に大電力を消費する装置など)と共用しているコンセントに接続する必要がある場所。
- 電源ノイズ(商用電源をリレーなどで ON/OFF する場合の接点スパークなど)を発生する装置の近く。
電源ノイズを発生する装置の近くに設置するときは電源配線の分離やノイズフィルターの取り付けなどを保守サービス会社に連絡して行ってください。
- 装置が動作を保証していない環境

5.2 設置作業エリア・保守エリア

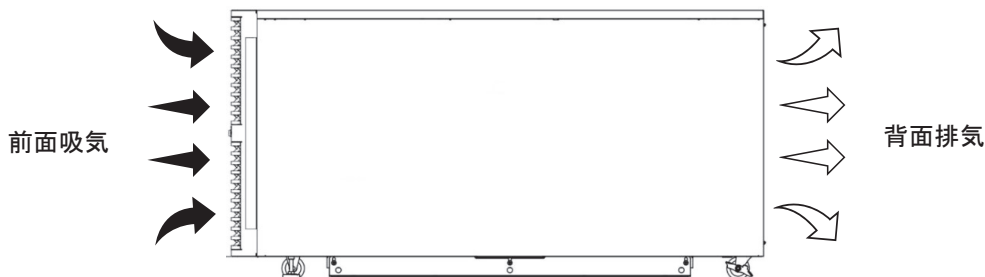
タワーコンバージョンキットを設置する場所については、以下の設置作業エリア・保守エリアが確保できるスペースを考慮して設置してください。

【設置作業・保守作業スペース】



本製品に搭載する装置は、前面吸気、背面排気となっています。タワーコンバージョンキットに取り付けた後の冷却エアフローは、フロントベゼル側から吸気し、背面側へ排気となります。タワーコンバージョンキットの設置場所については、これらのエアフローについても考慮してください。（タワーコンバージョンキット底面からの吸気は行えません）

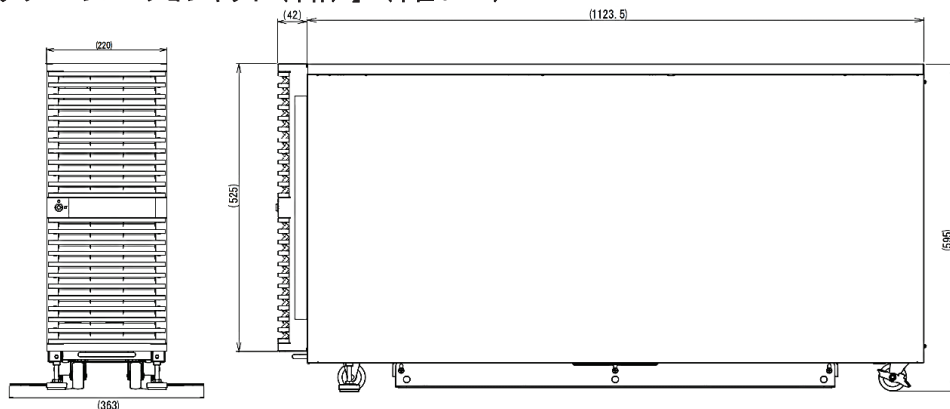
【エアフロー】



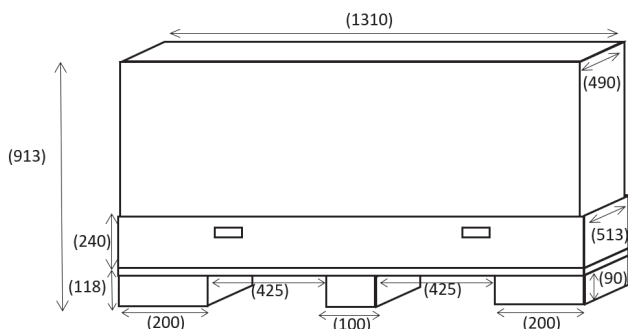
5.3 搬入経路の確認

設置場所を確認後、搬入口から設置場所までの経路、通路幅、リフター等の運搬具の大きさを確認いただき、搬入作業時に支障がでないよう、あらかじめ搬入経路を確認してください。タワーコンバージョンキットの寸法および形状は以下になります。

【タワーコンバージョンキット（本体）】（単位：mm）



【タワーコンバージョンキット（梱包状態）】（単位：mm）



5.4 タワーコンバージョンキットの設置

設置場所を決めたあと、タワーコンバージョンキットを設置場所まで移動し、以下の手順で設置してください。



チェック

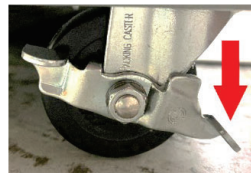
本機には、レベラー、キャスター、スタビライザーが取り付けられています。移動の際は、レベラーとスタビライザーがフロアの床面より上になっていることを確認後、キャスターのロックを外して移動します。

1. 設置場所まで移動後、背面のキャスター2個でキャスターをロックします。



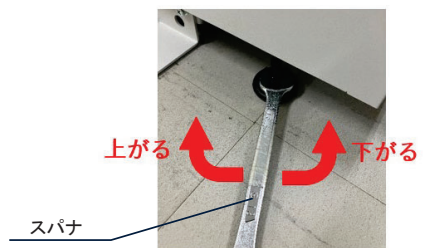
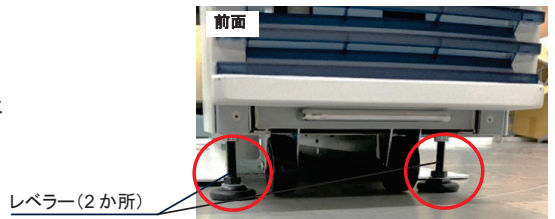
【キャスターのロックが解除されている状態】

【キャスターがロックされている状態】



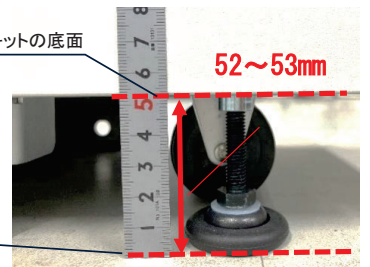
2. フロントベゼルの下側にあるレベラー（2か所）の高さをスパナ（二面幅：13mm）で調整します。タワーコンバージョンキットの底面がフロアの床面に対して「52mm～53mm」の高さとなるように調整してください。

上から見て時計回りに回すとタワーコンバージョンキットの高さが上がり、反時計回りに回すとタワーコンバージョンキットの高さが下がります。

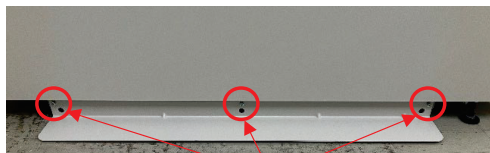


タワーコンバージョンキットの底面

床面

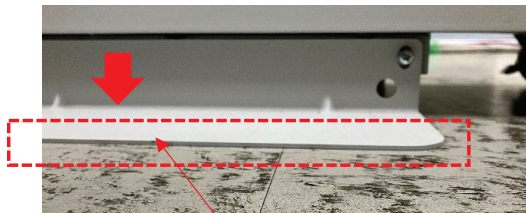


3. タワーコンバージョンキットの一方のサイドにあるスタビライザーのネジ（スタビライザーあたり3か所）を緩めます。



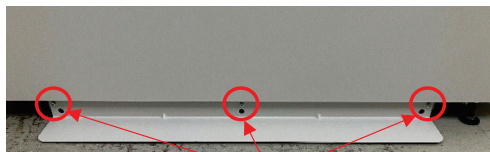
ネジを緩める(3か所)

4. 自重でスタビライザーの高さが下がりますので、そのままスタビライザーをフロアの床面に接触させます。



スタビライザーを床面に接触させる

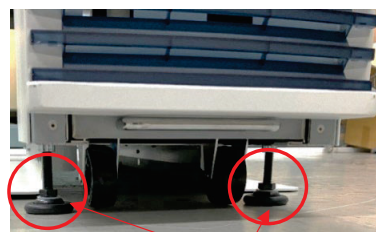
5. スタビライザーを床面に接触させたあと、手順3で緩めたスタビライザーのネジ（スタビライザーあたり3か所）を締めて固定します。



ネジを固定する(3か所)

6. 手順3～5の作業を、同様に反対側のスタビライザーにも実施します。

7. 両側のスタビライザーを固定したあと、レベラー（2か所）をそれぞれ反時計回りに1回転まわして緩めます。



レベラー(2か所)



以上で、タワーコンバージョンキットの設置作業は完了です。

6. 内蔵オプションの取り付け（本体装置）

装置の内蔵オプションを購入している場合は、装置をタワーコンバージョンキットに取り付ける前に、それらの内蔵オプションを装置に取り付けます。装置の内蔵オプションの取り付けについては、実装する各装置の以下のドキュメントを参考に付けてください。

●Express5800/高可用性サーバ(Express5800/R31Aa-E2)の場合

「メンテナンスガイド」「2章(5.6.NVMe ドライブの取り外し・取り付け・交換)」

「メンテナンスガイド」「2章(5.7.PCI カードの取り外し・取り付け・交換)」

●Express5800/高可用性サーバ(Express5800/R32Ba-E2)の場合

「ユーザーズガイド」「2章(1.内蔵オプションの取り付け/取り外し)」

内蔵オプションを購入していないとき、または「BTO(工場組み込み出荷)」でオプションをすべて組み込み指示したときは、この手順を省略することができます。



- 内蔵オプションの取り付けについては、弊社認定の保守サービス会社の保守員が作業することをお勧めします。
- オプションおよびケーブルは、弊社が指定する部品を使用してください。指定以外の部品を取り付けた結果、誤動作または故障、破損についての修理は、保証期間内であっても有償になります。

7. タワーコンバージョンキットへの実装

装置をタワーコンバージョンキットへ実装します。タワーコンバージョンキットへの実装手順は、装置により手順が異なります。実装する装置に合わせて、以下、本書内の各手順を参照してください。

●Express5800/高可用性サーバ(Express5800/R31Aa-E2)の場合

→「7.1 Express5800/高可用性サーバ (Express5800/R31Aa-E2)」






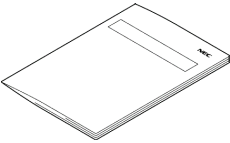
●Express5800/高可用性サーバ(Express5800/R32Ba-E2)の場合

→「7.2 Express5800/高可用性サーバ (Express5800/R32Ba-E2)」

7.1 Express5800/高可用性サーバ (Express5800/R31Aa-E2)

本製品に同梱されている部品のうち、以下のものを使用します。

| 項番 | 品名 | 数量 | 備考 |
|----|---------------|----|---|
| 1 | タワーコンバージョンキット | 1 | タワー本体  |
| 2 | フロントベゼルキー | 2 | フロントベゼルに添付  |
| 3 | ネジ(黒) | 8 | マウントレール取付用ネジ   ネジ(黒)は、添付品10個のうち、8個を使用します。 |
| 4 | ラックナット | 6 | マウントレール取付用ラックナット  |

| | | | |
|---|---------------------------|---|--|
| 5 | ラックナット取付け用治具 | 1 | <p>タワーコンバージョンキットにラックナットを取り付ける際に補助的に使用</p>  |
| 6 | マウントレールセット A (R3xAx 用) | 1 | <p>・上部マウントレールx1 (912.5mm x 117.5mm ※突起物を含む寸法)</p>  <p>開口部あり</p> <p>・下部マウントレールx1 (912.5mm x 117.5mm ※突起物を含む寸法)</p>  <p> マウントレールセットは、添付品箱の中にあります。2つの添付品箱のうち、「マウントレールセット A (R3xAx 用)」を使用します。</p> <p> 「マウントレールセット B (R3xBx 用)」は、本手順では使用しませんので、別途、保管してください。</p> |
| 7 | ユーザーズガイド | 1 | <p>本書</p>  |

以降の手順で、装置をタワーコンバージョンキットに取り付けます。

手順内には、装置の実装やケーブルの接続などの説明がありますので、装置のユーザーズガイドも合わせてご参照ください。

⚠ 注意

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけが、物的損害などを負うおそれがあることを示します。本体装置の「安全にご利用いただくために」もあわせて参照してください。



- 落下注意
- 取り付けの際は、必ず2人以上でしっかり持つ
- 装置のモジュール、電源ユニット、ディスクを中途半端に引き出した状態で作業しない
- 装置のモジュール、電源ユニット、ディスクがレバーでロックされていることを確認する
- キャスターのロックを解除したまま使用しない
- レバーを正しい位置に調整してから作業をする
- 指を挟まない
- 長袖の作業服、作業用手袋を着用して作業をする

7.1.1 マウントレールの取り付け

1. タワーコンバージョンキットのフロントドアを開けません。



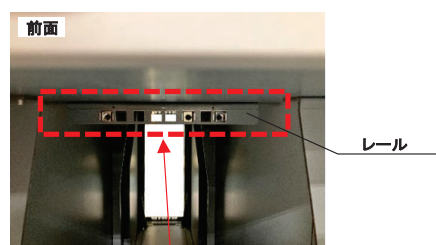
タワーコンバージョンキットのフロントドアがロックされている場合は、添付のキーでロックを外してください。



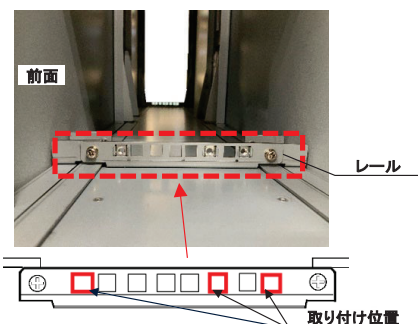
2. フロントドアを開けたあと、タワーコンバージョンキット内の上下にあるレールにて、これから取り付けるラックナットの取り付け位置を確認します。取り付け位置は、右図を参照してください。

(上部および下部にて、それぞれ3か所ずつ)

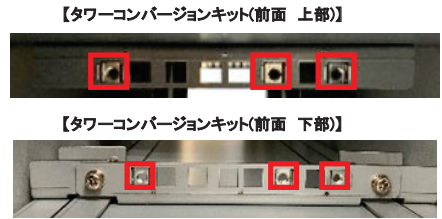
【タワーコンバージョンキット(前面 上部)】



【タワーコンバージョンキット(前面 下部)】

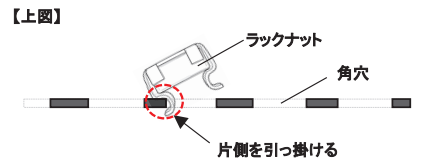
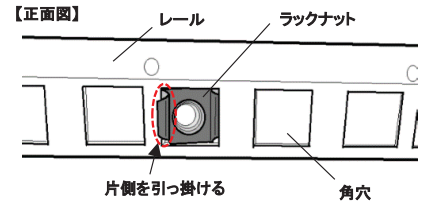


3. 取り付け位置を確認後、添付のラックナットを取り付けます。（上下で合計6か所）

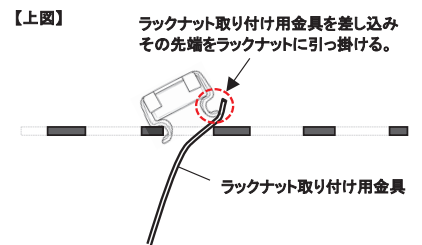
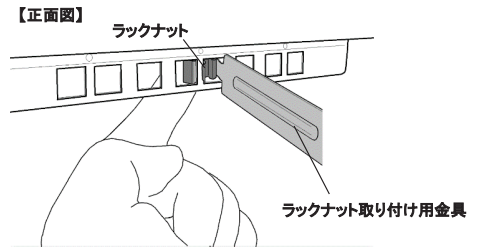


【ラックナット取り付け手順】

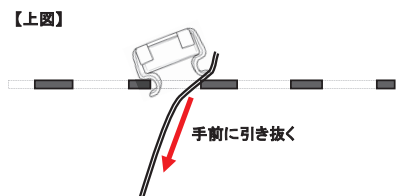
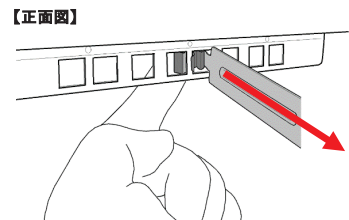
- ① 取り付ける位置の角穴にラックナットの片側を引っ掛ける。



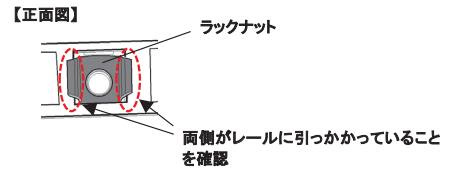
- ② ①で引っ掛けた片側とは反対の側に添付のラックナット取付け用治具を差し込み、ラックナット取付け用治具の先端をラックナットへ引っ掛ける。



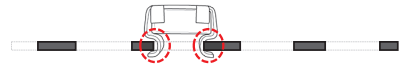
- ③ ラックナット取付け用治具を手前に引く。



- ④ ラックナットの両サイドがレールに引っかかっていることを確認します。



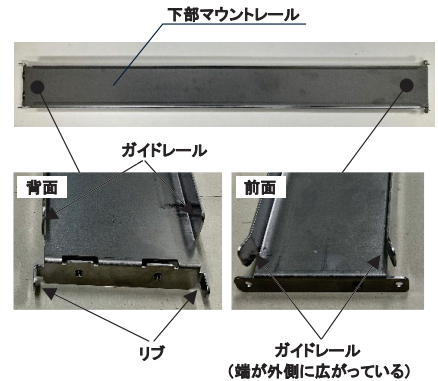
【上図】



4. 添付品のマウントレールセット A (R3xAx 用)のうち、下部マウントレールを用意します。

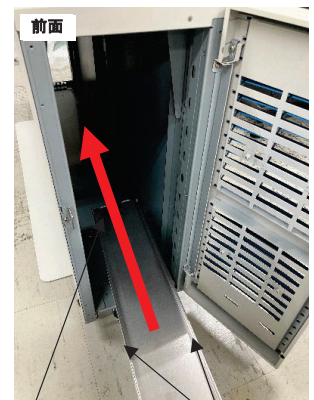


マウントレールセット A (R3xAx 用)には、上部マウントレールと下部マウントレールの 2 つが入っています。開口部がないレールが下部マウントレールです。(上部マウントレールには、開口部があります)



右の写真を参考に、下部マウントレールのどちらが「前面」側で、どちらが「背面」側であるかを事前に確認してください。下部マウントレールは、「前面」と「背面」で形状が異なります。

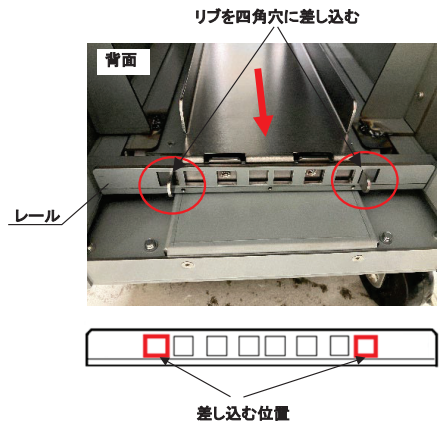
5. タワーコンバージョンキットの前面方向から下部マウントレールを入れ込みます。その際、下部マウントレールのガイドレールが上に向くように、また下部マウントレールの背面が、タワーコンバージョンキットの背面側になるように入れます。



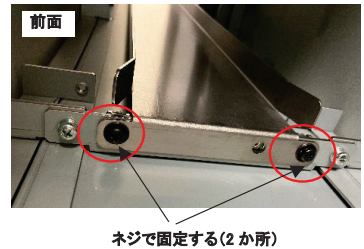
下部マウントレールの背面が奥になるように入れる

ガイドレールは上向き

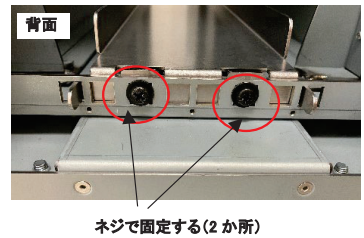
6. タワーコンバージョンキット背面のレールにある角穴に、下部マウントレールのリブ（2か所）を差し込みます。リブを入れる角穴は、一番左の角穴と一番右の角穴です。（右図参照）



7. 前面側からネジ（黒）で固定します。（2か所）



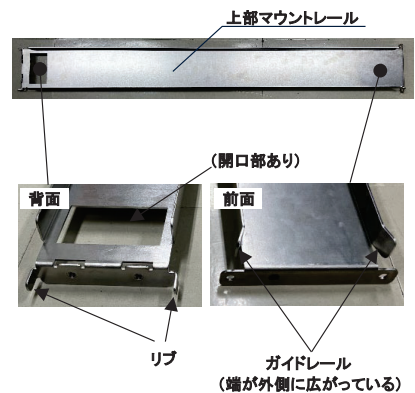
8. 背面側からもネジ（黒）で固定します。（2か所）



9. 添付品のマウントレールセット A（R3xAx 用）のうち、上部マウントレールを用意します。

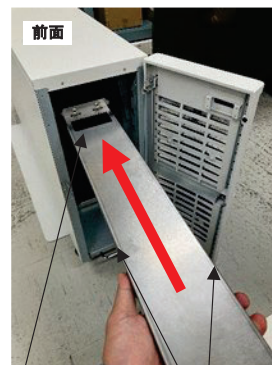


マウントレールセット A（R3xAx 用）には、上部マウントレールと下部マウントレールの 2 つが入っています。マウントレールに開口部がある方が、上部マウントレールです。（下部マウントレールには、開口部はありません）



右の写真を参考に、上部マウントレールのどちらが「前面」側で、どちらが「背面」側であるかを事前に確認してください。上部マウントレールも、「前面」と「背面」で形状が異なります。（右図参照）

10. タワーコンバージョンキットの前面方向から上部マウントレールを入れ込みます。その際、上部マウントレールのガイドレールが下に向くように、また上部マウントレールの背面が、タワーコンバージョンキットの背面側になるように入れます。



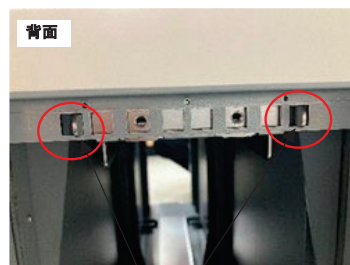
上部マウントレールの背面側が奥になるように入れる

ガイドレールは下向き

11. タワーコンバージョンキットの背面にあるレールの角穴に、上部マウントレールのリブ（2か所）を差し込みます。リブを入れる角穴は、一番左の角穴と一番右の角穴です。（右図参照）



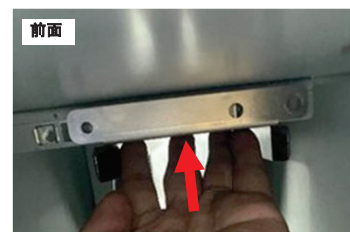
- リブを差し込む際は、必ず2人で作業し、タワーコンバージョンキットの前面から上部マウントレールが落下しないよう手で支えながら作業してください。
- リブを差し込み後も、次の手順にて、上部マウントレールがネジで固定されるまでは、上部マウントレールを落とさないよう、タワーコンバージョンキットの前面側から手で支えてください。リブを角穴に差し込んだ状態で、上部マウントレールを落下させると、マウントレールが破損するおそれがあります。



リブを差し込む

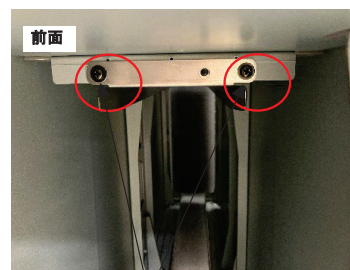


差し込む位置



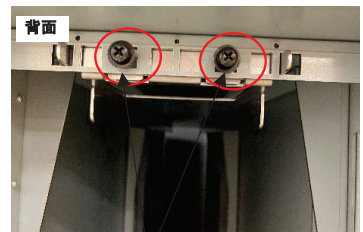
落下しないように前面からマウントレールを支える

12. 前面側からネジ（黒）で固定します。（2か所）



ネジで固定する(2か所)

13. 背面側からもネジ（黒）で固定します。
(2か所)



ネジで固定する(2か所)

以上で、マウントレールの取り付け作業は完了です。

7.1.2 装置の実装

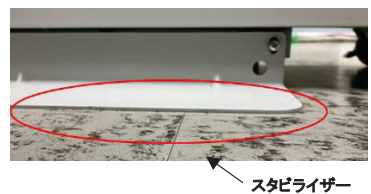
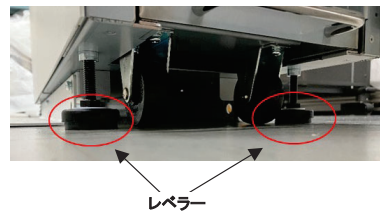
1. タワーコンバージョンキットのフロントドアを開けます。



タワーコンバージョンキットのフロントドアがロックされている場合は、添付のキーでロックを外してください。



2. レベラーおよびスタビライザーがしっかりと固定されていることを確認します。



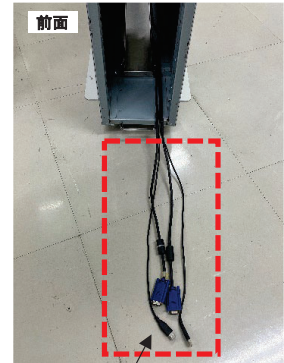
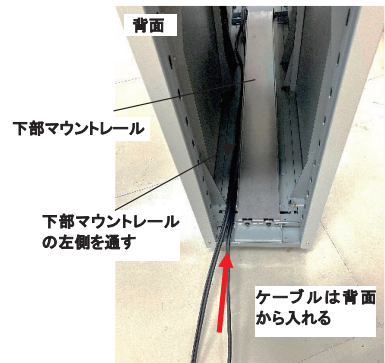
3. 装置の前面側に接続するケーブル（サーバスイッチユニット（SSU）と接続するKVMケーブルなど）がある場合は、事前にタワーコンバージョンキットの背面方向からケーブルを入れます。タワーコンバージョンキット背面から見て、下部マウントレールの左側を通し、前面から出します。（500mm程度）



ケーブルはマウントレールの上に乗らないように注意してください。



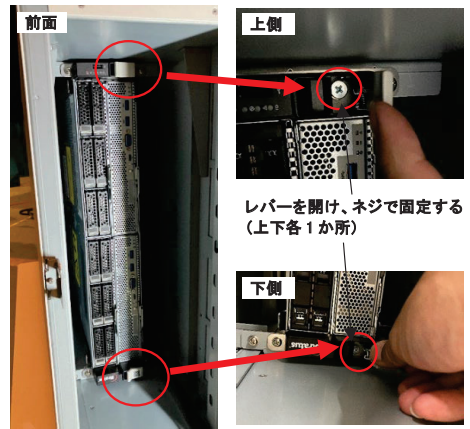
ケーブルの接続については、装置の「ユーザーズガイド」 「2章(2.3 接続)」も参考にしてください。



4. 装置を2人以上で持ち、装置を縦向きにしたあと、タワーコンバージョンキットの前面方向からマウントレールに沿って実装していきます。



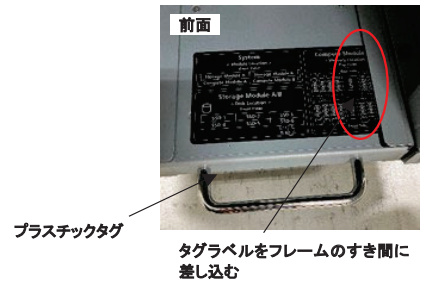
5. 装置の上下にあるレバーを開け、中にあるネジで装置とタワーコンバージョンキットを固定します。（上下各 1 か所）



6. タワーコンバージョンキット前面の下側のフレームのすき間に、プラスチックタグを差し込みます。



プラスチックタグは装置の添付品です。装置のオプションを増設したり、保守をする際に使用しますので、右図の位置に収納しておいてください。



以上で、装置の実装は完了です。

7.1.3 ケーブルの接続

1. 装置の前面にケーブルを接続します。



タワーコンバージョンキット前面の両サイドには、ケーブルを固定するための長穴がありますので、ケーブルタイなどを使ってケーブルを固定します（推奨）



ケーブルの接続については、装置の「ユーザーズガイド」「2章(2.3 接続)」も参考にしてください。

2. ケーブルに余長がある場合は、タワーコンバージョンキット背面側からケーブルを引き出して長さを調整します。

3. インターフェースケーブル（LAN ケーブルやFC ケーブルなど）をすべて接続後、最後に AC 電源ケーブルを接続します。

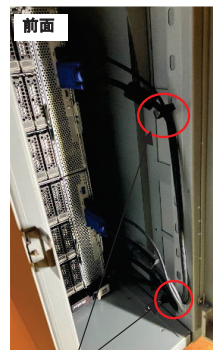


AC 電源ケーブルの抜け防止のため、装置の電源ユニットのケーブルストラップを利用して固定してください（推奨）

4. ケーブルは、電源用のケーブルとインターフェースケーブルが、極力、並行とならないようにします。AC 電源ケーブルは右側、インターフェースケーブルは左側のように、配線が別々となるように分けて束ね、ケーブルタイなどを利用して固定します。



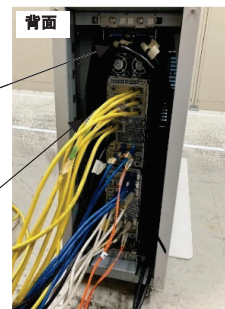
タワーコンバージョンキット背面の両サイドには、ケーブルをケーブルタイなどで固定するための長穴がありますので、それらを使ってケーブルを固定します（推奨）



ケーブルを固定する

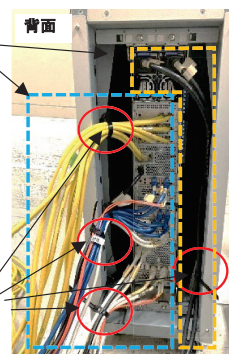


余長分は背面側へ引き出す



AC 電源ケーブルは、最後に接続する

すべてのインターフェースケーブルを接続する



インターフェース用と AC 電源用のケーブルは別々に分ける

ケーブルを固定する








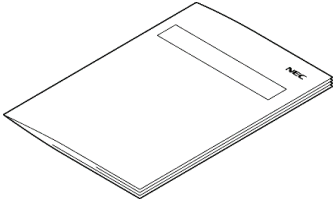
以上で、タワーコンバージョンキットへの実装は完了です。

以降は、装置のユーザーズガイド「3章(セットアップ)」を参照し、装置のセットアップを実施してください。

7.2 Express5800/高可用性サーバ (Express5800/R32Ba-E2)



本製品に同梱されている部品のうち、以下のものを使用します。

| 項番 | 品名 | 数量 | 備考 |
|----|---------------|----|--|
| 1 | タワーコンバージョンキット | 1 | タワー本体  |
| 2 | フロントベゼルキー | 2 | フロントベゼルに添付  |
| 3 | ネジ(黒) | 10 | マウントレール取付用ネジ  |
| 4 | ラックナット | 4 | マウントレール取付用ラックナット   ラックナットは、添付品 6 個のうち、4 個を使用します。 |
| 5 | ラックナット取付け用治具 | 1 | タワーコンバージョンキットにラックナットを取り付ける際、補助的に使用  |

| | | |
|---|---------------------------|---|
| 6 | マウントレールセット B (R3xBx 用) | <p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インナーレールx1 (725mm x 44mm)  ・上部マウントレールx1 (878.3mm x 109.6mm ※突起物を含む寸法)  ・下部マウントレールx1 (780.4mm x 99.4mm ※突起物を含む寸法)  インナーレール差し込みブラケットあり ・上部ブラケットx1 個  刻印:『U』 ・下部ブラケットx1 個  刻印:『L』 <p> マウントレールセットは、添付品箱の中にあります。2つの添付品箱のうち、「マウントレールセット B (R3xBx 用)」を使用します。</p> <p> 「マウントレールセット A (R3xAx 用)」は、本手順では使用しませんので、別途、保管してください。</p> |
| 7 | ユーザーズガイド | <p>1</p> <p>本書</p>  |

以下の手順で、装置をタワーコンバージョンキットに取り付けます。

手順内には、装置の実装やケーブルの接続などの説明がありますので、装置のユーザーズガイドも合わせてご参照ください。

|  注意 | |
|---|--|
|  | <p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけが、物的損害などを負うおそれがあることを示します。本体装置の「安全にご利用いただくために」もあわせて参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 落下注意● 取り付けの際は、必ず2人以上でしっかり持つ● 装置のモジュール、電源ユニット、ディスクを中途半端に引き出した状態で作業しない● 装置のモジュール、電源ユニット、ディスクがレバーでロックされていることを確認する● キャスターのロックを解除したまま使用しない● レベラーを正しい位置に調整してから作業をする● 指を挟まない● 長袖の作業服、作業用手袋を着用して作業をする |

7.2.1 マウントレールの取り付け

1. タワーコンバージョンキットのフロントドアを開けます。

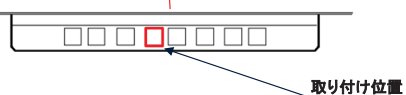
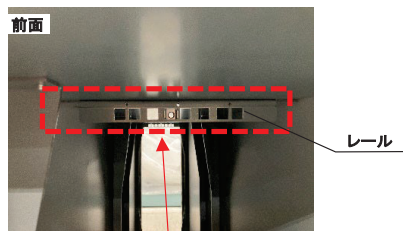


タワーコンバージョンキットのフロントドアがロックされている場合は、添付のキーでロックを外してください。

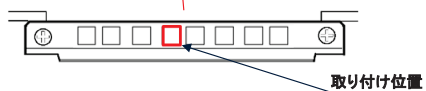
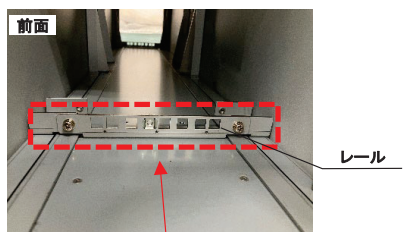


2. フロントドアを開けたあと、タワーコンバージョンキット内の上下にあるレールにて、これから取り付けるラックナットの取り付け位置を確認します。取り付け位置は、右図を参照してください。(上部および下部にて、それぞれ1か所ずつ)

【タワーコンバージョンキット(前面 上部)】

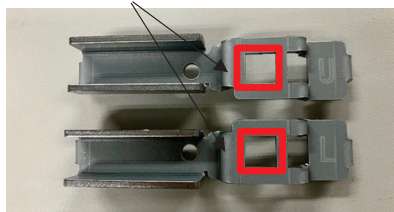


【タワーコンバージョンキット(前面 下部)】



3. 添付品のマウントレールセット B (R3xBx 用)のうち、上部ブラケットと下部ブラケットを用意し、ラックナットの取り付け位置を確認します。

取り付け位置



4. 取り付け位置を確認後、添付のラックナットを取り付けます。(レール：上下で合計2か所)
(ブラケット：上下で合計2か所)

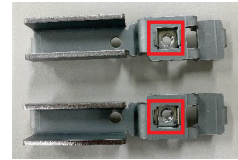
【タワーコンバージョンキット(前面 上部)】



【タワーコンバージョンキット(前面 下部)】



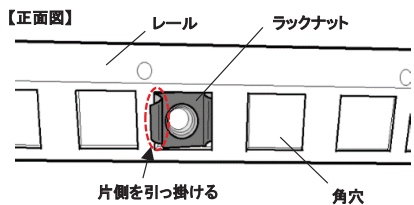
【ブラケット(上下)】



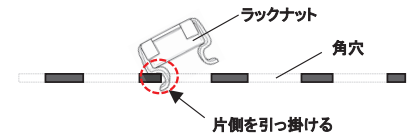
【ラックナットの取り付け手順】

- ① 取り付ける位置の角穴にラックナットの片側を引っ掛ける。

【正面図】

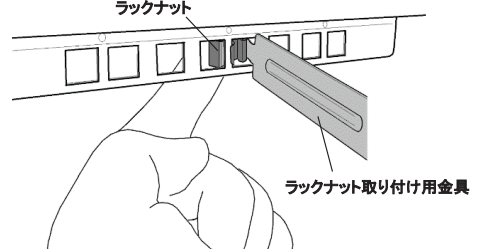


【上図】

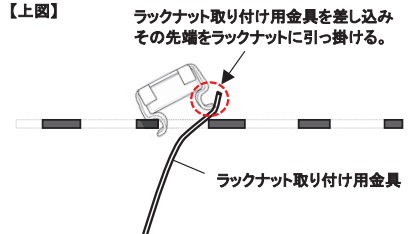


- ② ①で引っ掛けた片側とは反対の側に添付のラックナット取り付け用治具を差し込み、ラックナット取り付け用治具の先端をラックナットへ引っ掛ける。

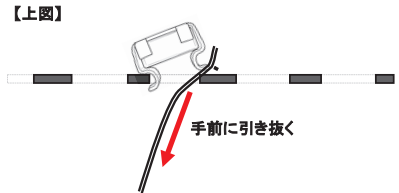
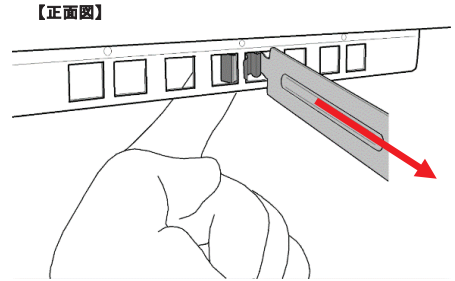
【正面図】



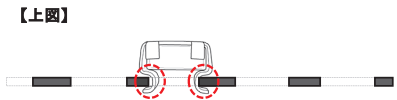
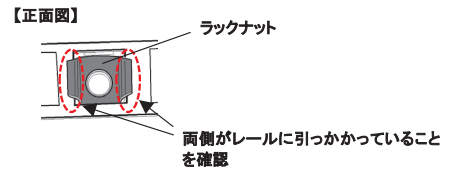
【上図】



- ③ ラックナット取付け用治具を手前に引く。



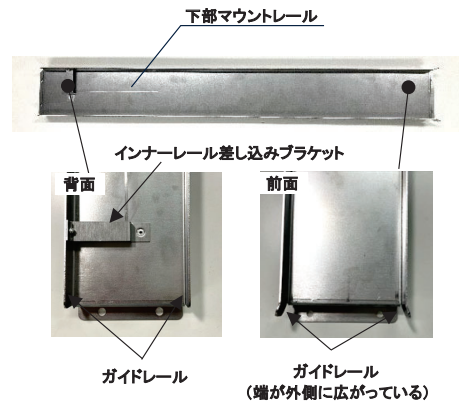
- ④ ラックナットの両サイドがレールに引っかかっていることを確認します。



5. 添付品のマウントレールセット B (R3xBx 用)のうち、下部マウントレールを用意します。

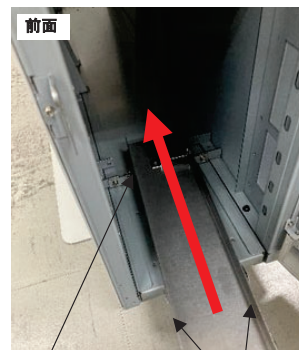


マウントレールセット B (R3xBx 用)には、上部マウントレールと下部マウントレールの2つが入っています。インナーレール差し込みブラケットがあるレールが下部マウントレールです。(上部マウントレールには、インナーレール差し込みブラケットはありません)



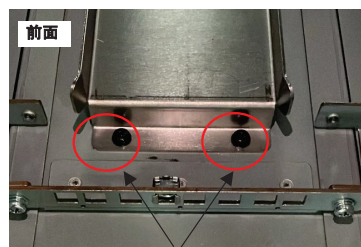
右の写真を参考に、下部マウントレールのどちらが「前面」側で、どちらが「背面」側であるかを事前に確認してください。下部マウントレールは、「前面」と「背面」で形状が異なります。

6. タワーコンバージョンキットの前面方向から下部マウントレールを入れ込みます。その際、下部マウントレールのガイドレールが上に向くように、また下部マウントレールの背面が、タワーコンバージョンキットの背面側になるように入れます。



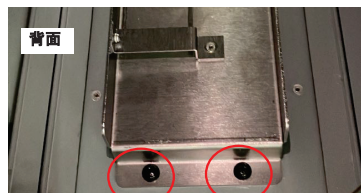
下部マウントレールの背面が奥になるように入れる
ガイドレールは上向き

7. 前面側からネジ（黒）で固定します。（2か所）



ネジで固定する(2か所)

8. 背面側からもネジ（黒）で固定します。（2か所）

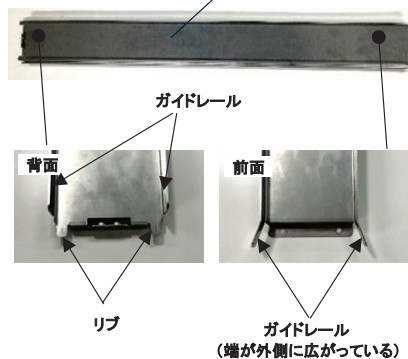


ネジで固定する(2か所)

9. 添付品のマウントレールセット B (R3xBx 用)のうち、上部マウントレールを用意します。

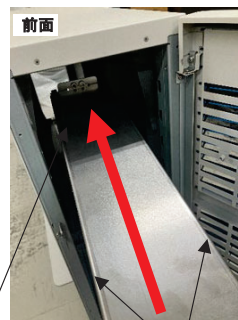


マウントレールセット B (R3xBx 用)には、上部マウントレールと下部マウントレールの2つが入っています。マウントレールにインナーレール差し込みブラケットがない方が、上部マウントレールです。（下部マウントレールには、インナーレール差し込みブラケットがあります）



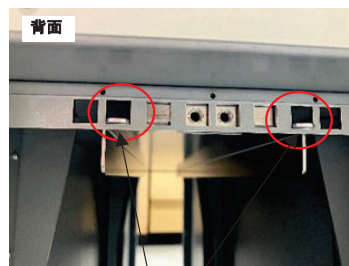
右の写真を参考に、上部マウントレールのどちらが「前面」側で、どちらが「背面」側であるかを事前に確認してください。上部マウントレールも、「前面」と「背面」で形状が異なります。（右図参照）

10. タワーコンバージョンキットの前面方向から上部マウントレールを入れ込みます。その際、上部マウントレールのガイドレールが下に向くように、また上部マウントレールの背面が、タワーコンバージョンキットの背面側になるように入れます。



上部マウントレールの背面側が奥になるように入れる
ガイドレールは下向き

11. タワーコンバージョンキットの背面にあるレールの角穴に、上部マウントレールのリブ（2か所）を差し込みます。リブを入れる角穴は、左から2番目の角穴と右から2番目の角穴です。（右図参照）



リブを差し込む



差し込む位置

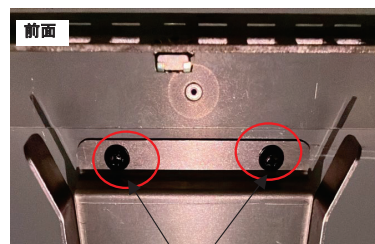


- リブを差し込む際は、必ず2人で作業し、タワーコンバージョンキットの前面から上部マウントレールが落下しないよう手で支えながら作業してください。
- リブを差し込み後も、次の手順にて、上部マウントレールがネジで固定されるまでは、上部マウントレールを落とさないよう、タワーコンバージョンキットの前面側から手で支えてください。リブを角穴に差し込んだ状態で、上部マウントレールを落下させると、マウントレールが破損するおそれがあります。



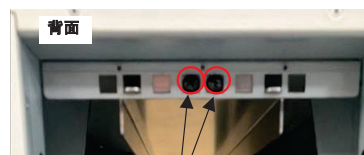
落下しないように前面からマウントレールを支える

12. 前面側からネジ（黒）で固定します。（2か所）



ネジで固定する(2か所)

13. 背面側からもネジ（黒）で固定します。
（2 か所）



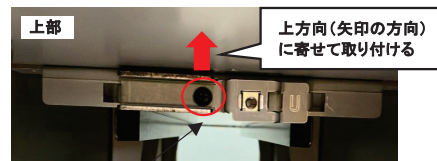
ネジで固定する(2 か所)

14. 上部ブラケットを前面の上部レールに、下部ブラケットを前面の下部レールにそれぞれネジ（黒）で固定します。（2 か所）

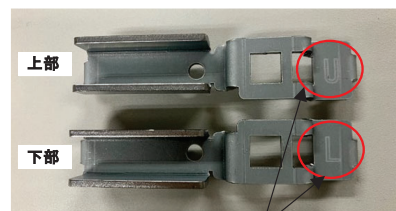
上部ブラケットを取り付けるときは、右の写真のように上部ブラケットを上方向に寄せてからネジで取り付けてください。



ブラケットには、上部ブラケットと下部ブラケットの2種類があります。上部ブラケットには『U』、下部ブラケットには『L』がそれぞれ刻印されています。



ネジで固定する(2 か所)



刻印

15. 添付品のマウントレールセット B (R3xBx 用)のうち、インナーレールを用意します。

インナーレールは、装置前面からみて左側に取り付けます。

また、インナーレールは取り付けの方向が決まっています。右の写真を参考に、インナーレールのどちらが『装置前面』側で、どちらが『装置背面』側であるかを事前に確認してください。

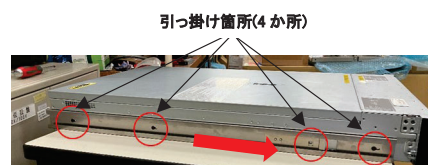


装置後方側

装置前方側

イジェクト構造

16. 装置左側の引っ掛け箇所(4 か所)にインナーレールを差し込み、装置前面側にスライドします。その後、インナーレールがしっかりと固定されているかを確認します。



以上で、マウントレールの取り付け作業は完了です。

7.2.2 装置の実装

1. タワーコンバージョンキットのフロントドアを開けます。

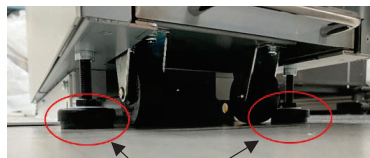


チェック

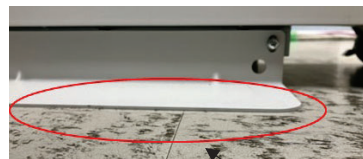
タワーコンバージョンキットのフロントドアがロックされている場合は、添付のキーでロックを外してください。



2. レベラーおよびスタビライザーがしっかりと固定されていることを確認します。



レベラー



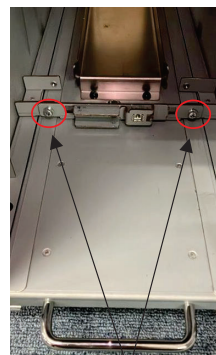
スタビライザー

3. タワーコンバージョンキット前面側2か所のネジ（シルバー）を取り外し、メンテナンスユニットをゆっくり引き出します。



チェック

取り外したネジ（2本）は、後の手順で再度、使用しますのでなくさないように注意してください。またこのネジは、添付されている他のネジ（黒）とは異なりますので、混ざらないように注意してください。



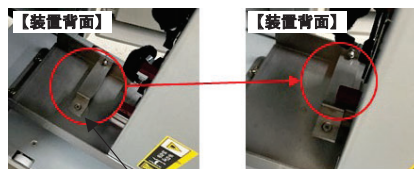
ネジを取り外す(2か所)



4. 装置を2人以上で持ち、インナーレールが下側になるように縦向きにします。その後、タワーコンバージョンキットの前面方向からマウントレールに沿って実装します。



5. 装置を奥までスライドし、インナーレールが下部マウントレールの抑え部材に差し込まれているか、装置前面の下側と下部ブラケットが接触しているかを確認します。



抑え部材

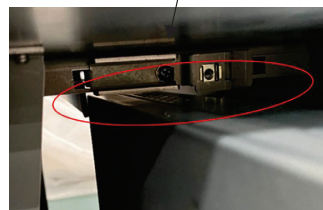


下部ブラケット

6. 装置背面側を少し持ち上げながら、上部マウントレールに沿うようにメンテナンスユニットを格納します。
メンテナンスユニットは引き出し時ロックされており、装置背面側を持ち上げることでロックを解除することができます。



上部マウントレールに沿って格納する



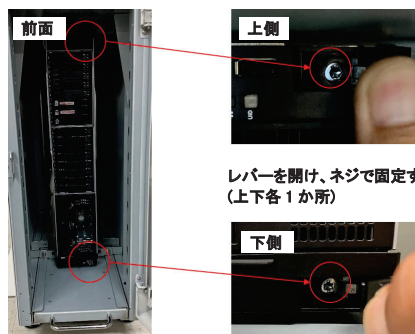
7. 装置を格納した後、タワーコンバージョンキット前面側2か所を、手順3で取り外したネジ（シルバー）で再度、固定します。



ネジで固定する(2か所)

8. 装置の上下にあるレバーを開け、中にあるネジで装置とタワーコンバージョンキットを固定します。（上下各 1 か所）

※使用工具：トルクス T20



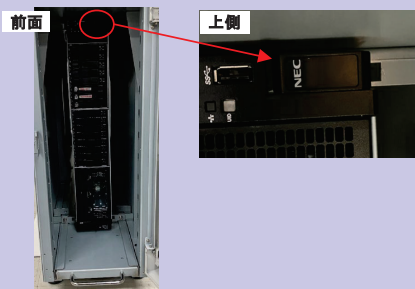
レバーを開け、ネジで固定する。
（上下各 1 か所）

以上で、装置の実装は完了です。

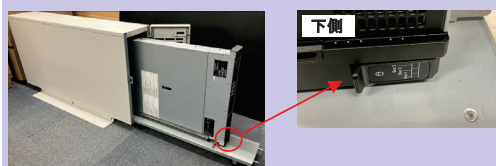


本体装置を取り外す際には、本手順を逆に実施してください。

なお、装置を引き出す際には、本体装置上部レバーを解除しながら引き出してください。



また、装置をおろす際には、本体装置下部レバーを解除しながらおろしてください。



7.2.3 ケーブルの接続

1. インターフェースケーブル（LAN ケーブルや FC ケーブルなど）をすべて接続後、最後に AC 電源ケーブルを接続します。



ケーブルの接続については、装置の「ユーザーズガイド」「2章 3.3 接続」も参考にしてください。

すべてのインターフェースケーブルを接続する

AC 電源ケーブルは、最後に接続する



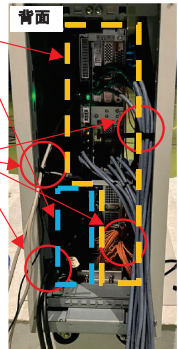
2. ケーブルは、電源用のケーブルとインターフェースケーブルが、極力、並行としないようにします。AC 電源ケーブルは右側、インターフェースケーブルは左側のように、配線が別々となるように分けて束ね、ケーブルタイなどを利用して固定します。



タワーコンバージョンキット背面の両サイドには、ケーブルをケーブルタイなどで固定するための長穴がありますので、それらを使ってケーブルを固定します（推奨）

インターフェース用と AC 電源用のケーブルは別々に分ける

ケーブルを固定する









以上で、タワーコンバージョンキットへの実装は完了です。

以降は、装置のユーザーズガイド「3章(セットアップ)」を参照し、装置のセットアップを実施してください。

8. 日常の保守

本製品をより状態に保つために、定期的にクリーニング(清掃)してください。

 **警告**

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。本体装置に添付の「安全にご利用いただくために」も参照してください。

- 自分で分解・修理・改造はしない
- 電源プラグを差し込んだまま取り扱わない
- 装置前面や内部にほこりが積もった状態で運用しない

8.1 本製品のクリーニング

クリーニングは、本製品に搭載しているサーバ機器の電源を OFF にし、すべての AC 電源ケーブルをコンセントから抜いた後に実施します。外観の汚れは、柔らかい乾いた布でふき取ってください。



重要

- シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤は使わないでください。材質のいたみや変色の原因になります。
- コンセント、ケーブル、コネクタ、および装置内部は絶対に水などで濡らさないでください。



本製品に搭載しているサーバ機器のクリーニングについては、サーバ機器のマニュアルを参照してください。

- Express5800/高可用性サーバ (Express5800/R31Aa-E2) の場合
「メンテナンスガイド」 「1章(2.4. クリーニング)」
- Express5800/高可用性サーバ (Express5800/R32Ba-E2) の場合
「メンテナンスガイド (運用編)」 「1章(2.5 クリーニング)」

N8843-009L

タワーコンバージョンキット(L)

CBZ-063831-003-00

2026年3月初版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL (03) 3454-1111 (大代表)

© NEC Corporation 2026

落丁、乱丁の際はお取り替えいたします。
このマニュアルは再生紙を使用しています。



* CBZ-063831-003-00 *